

事務事業名	後期高齢者健康診査事業			担当	市民生活部 国保年金課 高齢者医療係		
政策名	C	思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり			電話番号	0285-83-8593	
施策名	5	高齢者の自立と社会参加の支援			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
基本事業名				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	高齢者の医療の確保に関する法律、栃木県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例				<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成20 年度～）		
予算科目	1. 一般会計	4. 衛生費	1. 保健衛生費	2. 予防費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	栃木県後期高齢者医療広域連合は、被保険者である75歳以上の後期高齢者（65歳以上75歳未満で一定の障害があり、保険者が認定した者も被保険者とする）が健康な状態で生涯を過ごせるよう、保健事業の一環として健康診査事業を実施している。この健康診査事業は、広域連合との業務委託契約に基づき市が実施主体となり実施している。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 24年度実績 健康診査事業は、栃木県後期高齢者医療広域連合から委託を受けた市が実施主体となって実施し、事業に要した費用は、広域連合から市に委託料として支払われた。 平成22年度又は23年度のどちらかで受診した人に対し、本年度日程に組入れ継続受診を促すとともに、4月当初に検診日程を全戸配布した。 それ以外は、集団検診記事を「Weekly News」に掲載し、希望者は電話にて申し込み、受診者に受診券（受診票）を送付した。受診者全員に基本＋詳細検診を実施した。 検診結果通知は市から集団・個別とも郵送した。その際に健康相談会（毎週火曜日）と健康結果説明会の案内を同封し、窓口や電話でも対応した。 25年度計画 24年度と同じ	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称							
	ア	健康診査受診案内通知者数	人	8,142	8,331	8,441	8,527	8,692
	イ	健康診査結果（情報提供）通知者数	人	2,014	2,262	1,822	1,876	2,607
	ウ	健康診査実施回数（集団）	回	55	62	66	68	66
エ								
オ								
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 栃木県後期高齢者医療広域連合の被保険者（真岡市）	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称							
	ア	被保険者数（4月1日現在）	人	8,142	8,331	8,441	8,527	8,692
	イ							
	ウ							
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 被保険者に健康診査を受診してもらおう	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称							
	ア	健康診査受診者数	人	2,014	2,262	1,822	1,876	2,607
	イ	健康診査受診者数 / 被保険者数	%	24.7	27.2	21.6	22.0	30.0
	ウ							
エ								
オ								
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 健康診査を通して自分の健康に関心を深めてもらい、健康診査の結果に基づく健康管理、疾病の早期発見・早期治療によって、被保険者が健康な状態で生活を営めるよう支援する。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称							
	ア	健康な状態で暮らしている被保険者数						
	イ							
	ウ							
エ								
オ								

(2) 総事業費の推移		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	千円				
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	9,748	10,103	13,571	13,015
		一般財源	千円	0	0	0	0
	事業費計(A)	千円	9,748	10,103	13,571	13,015	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	65	72	76	78
		人件費計(B)	千円	264	307	322	328
トータルコスト(A)+(B)		千円	10,012	10,410	13,893	13,343	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	平成20年4月1日から高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、原則75歳以上の高齢者（65歳以上75歳未満で一定の障害があり、保険者が認定した者も被保険者とする）を対象にした、後期高齢者医療制度がスタートした。 この法律に基づき、保険者として栃木県後期高齢者医療広域連合が設立され、健康診査事業は広域連合が行う保健事業として始められた。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	現行の後期高齢者医療制度を廃止し、新たな制度に移行するため、「社会保障制度改革推進法」（平成24年8月成立）に基づき、「社会保障制度改革国民会議」において、制度の改革、廃止等について、検討が行われている。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 被保険者である高齢者の健康の保持増進は市の施策である。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 栃木県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の規定に基づき、保険者である広域連合からの委託で実施している。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 被保険者全員を対象とした事業である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 被保険者の健康に関する関心を高め、健康診査の受診率を向上させる。広報等により制度の周知、受診勧奨に努める。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 被保険者の健康の保持増進を目的に、栃木県後期高齢者医療広域連合から委託を受け実施している。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 健康診査は最小限の単価で実施されている。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか？ (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 最小限の人件費である。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 受益者負担はない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続 健康検査受診率の向上	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？ 健康診査を受けることの必要性、効果を被保険者に認めてもらうこと																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							